

今回のあわら市議会議員選挙。今回は、いろんな人の意見を聞きました。荒っぽく総括すると、次の2点だと思います。

(1)あわら市民は若い人に厳しい。

いろんな要素はあるとはあるとは思いますが、結局、候補者のうち、30～50代の若い人3人中2人が落選で、1人が最下位当選でした。

(2)あわらの選挙は、結局、同窓会、地域のコミュニティー選挙である。

新聞や、ホームページがある方等の情報、先に述べたような私個人のアンケート情報で、各候補の政策をなるべく知ろうと思いましたが、本当に総花的な話のみで具体的な考えを把握する事はほぼ不可能でした。結局、同窓会、地域的なつながりが何よりも重要であり、候補者が何をしようとしているかはよく分からないが、知人を介した「よろしくお願いします」だけで支持が広がっていく。

以上2点により、各地区で一部の長老により決められた年配者を中心に議会が構成され、長期的な視点による抜本的なものよりも、短期的な無難な施策が行われがちな雰囲気になるのではないかと憂います。人口減少、新幹線による街の開発、教育環境、農業環境は今までのままでうまくいくのでしょうか。ここ数年であわらは変わらなければ衰退していってしまうでしょう。有志諸君、一緒に頑張りましょう。